



ハ高新時代!! 君も挑戦、ハ高で三刀流!!

## 「知の泉」に「緑の風」吹く

令和7年12月19日(金)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

39

第2学期終業式で、次の話をしました。

2学期始業式では、元プロ野球選手のイチローさんのお話をしました。「人より頑張ることなんてとてもできないんですよね。あくまでも、秤（はかり）は自分の中にある。それで、自分なりにその秤をつかいながら、自分の限界を見ながら、ちょっと超えていく…ということを繰り返していく。」

さて、皆さんは「自分の中にある秤（はかり）」を使って、少しずつ自分の限界を超える努力をする、そのような2学期を過ごすことができたでしょうか。

他人（ひと）との比較ではなく、あくまでも自分の中の確固とした「ものさし」「秤」を持ち、それに照らして努力を積み重ねる。先行き不透明な時代にあって、これは何よりも大切なことなのです。

何かをやろうとするとときに、「どうせ無理」「こんなことをしても意味ない」、といった言葉で片付けていませんか。努力する前にあきらめていませんか。こういう勉強をすれば、とか、部活でこういう練習方法を取り入れれば、とか、何かに挑戦する場面はたくさんあります。「やっても無駄」「できるわけない」「意味がない」という言葉は、その根拠を他者に求める姿勢の表れです。根拠は自分で、私たちが創り出せばよいではありませんか。

みなさんの全力投球を、私たちもまた全力で支援します。

大切なあなたへ、あらためて安全安心な冬休みを、と願い、式辞とします。